



# 地域とともに、市民とともに

## 市民へ向けた情報発信とキャンパス開放

京都大学では、世界的規格の大学づくりを目指していく一方で、大学創設以来、京都という地域の持つ伝統・文化の中で育まれてきた自由の学風の伝統を継承し、さらに学問の自由の確立に貢献していきます。

長い間、京都大学のシンボリック建築物として親しまれてきた「時計台」は平成15(2003)年に「百周年時計台記念館」として生まれ変わり、「歴史展示室」では大学の百年の歴史をパネルなどで紹介するとともに、総合案内や、市民の方々でも気軽に利用できるショップ、レストランなどを設けました。また、同館内の百周年記念ホールでは市民のみなさんも参加いただける「京都大学未来フォーラム」を定期開催するなど、社会と大学とのインターフェースとしての機能を果しています。

桂キャンパスは、地域及び環境との共生をコンセプトに設計されており、キャンパスと地域を分かち壁を設けず、学生・教職員のための福利厚生施設も地域住民の方々に、広くご利用いただいています。



2



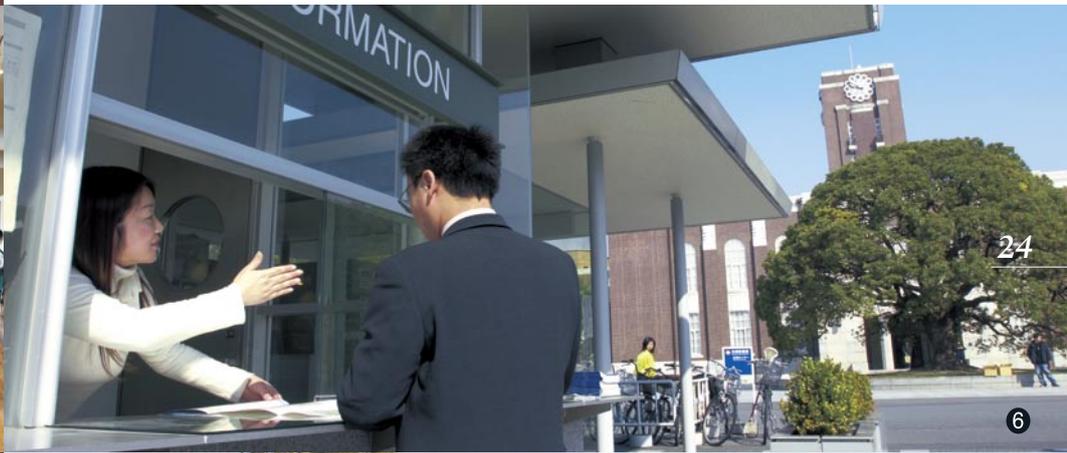
3



4



5



24

6



7

- ①くすのき絵画大賞 受賞作品
- ②歴史展示室(百周年時計台記念館)
- ③レストラン「ラトゥール」(同)
- ④カフェ・レストラン「カンフォーラ」
- ⑤「京都大学未来フォーラム」の様子
- ⑥正門インフォメーションセンター
- ⑦地域・市民のみなさんにも開かれたキャンパス(桂キャンパス)